



特集

シルバーの笑顔は 金メダル

おじいちゃん、おばあちゃんの優しくて、温かい笑顔は、
まちを明るくする金メダル。
今月号は、元気で、笑顔の素敵な
おじいちゃん、おばあちゃんをご紹介します。



P08 ~



P10 ~



P12 ~



P18 ~

Contents (2月号・目次)

03	特集「シルバーの笑顔は金メダル」
08	お知らせワイド 「人権標語 2009」 入選作品が決まりました ／所得税・消費税及び地方消費税の確定申告と贈与税の申告・納税は正しく、お早めに
10	タウンピックアップ (まちの話題)
12	情報BOX 市営住宅入居者募集／第34回市民ふれあいなわとび大会／男女共同参画講演会「ありのままそのまに生きる」／交通災害共済事業は3月31日で廃止します／軽自動車等の所有者に変わりはないですか ほか
18	みんなの広場 つながれ仲間のわっ!!／世界遺産熊野古道を歩く／なるほど!医療講座／食育簡単レシピ／我が家の愛どる／笑顔でインタビュー／図書館へ行こう
22	相談日程



●今月の表紙
夫婦で毎日散歩するのが日課という前田恵三郎さん。この日は扇ヶ浜公園で、最高の笑顔を頂きました。



かず
田中 一さん
(明洋二丁目)



清水 澄代さん
(下万呂)

テニスをする事、そして今日よりも明日のことを考えるのが元気の秘訣

子供たちに昔の知恵や平和の大切さを伝えていきたい



▲自身の性格を干支の猪に例えて「猪突猛進」と話す田中さん。テニスも積極的なプレーを心掛けているそうです。

1月のある日の朝、文里テニスコートでソフトテニスの練習に励んでいる方々がいました。「はまゆうクラブ」の皆さんです。その中で洗刺とプレイしていたのは、最年長86歳の田中一さんです。

「テニスのおかげで、今も健康ですよ」と話す田中さんは、関西電力勤務時代に同僚に誘われてテニスを始めたのが、昭和28年。テニス歴は58年目になり、昨年11月に行われた公民館の南東部秋季ソフトテニス大会では、見事優勝するなど、なかなかの腕前。

元気の秘訣を尋ねると、「やっぱりテニスかな。テニスに来ると体も動かせるし、仲間にも出会えるから。そして、いつまでもよくよ悩まないこと。失敗してもすぐに切り替えて、次のことを考えるようにする。今日よりも明日のことを考える」と答えてくれました。

「こんなに長い間テニスを続けてこれたのは、良い仲間に出会えたから」と話す田中さんに若い世代へのメッセージをお願できないから、人間関係、人と人の輪を大切にしたい」と言い残し、コートへと戻って行きました。

下万呂で、夫の正治さんと「つどいの家・昔のくらし資料室」を運営している清水澄代さん。平成4年に、昔の暮らしの道具や遊び道具などを展示する「つどいの家・昔のくらし資料室」を開設してから、学校の授業の一環で利用する子供たちや、見学に訪れる方々に、昔の生活の様子を説明したり、昔の遊びを教えたりしています。資料室は、戦争や人権などの資料もたくさん收藏しており、研究の資料を探しに来る大学生など、多くの方に利用されています。

「子供たちが、珍しい昔の道具やおもちゃに触れて楽しんで」

元気の秘訣は、「どんなことでも楽しんで、一生懸命にすること」。いつも笑顔の清水さん。お友達からは「嫌なことはないの?」と聞かれたりもするほど陽気な性格で、みんな仲良く楽しく、元気に暮らせることに毎日感謝しているのだそうです。



▲「ほ～ら、お手玉も昔はこうしていくつも並べて練習したんやで」と見せてくれる清水さん。ほかにも、コマやメンコ、竹とんぼなどが並べられており、そのほとんどは、身近なものや自然の素材を使って手作りされたものだそうです。



元気で、笑顔の素敵なおじいちゃん、おばあちゃん。
 人生というステージで生きがいや喜びを見つけ、今を明るく、楽しく過ごされている皆さん。
 その生きがいや喜びは、文化やスポーツに親しむこと、昔ながらのことを今に伝えていくこと、家族や地域に必要とされることなど、様々です。
 シルバーの笑顔は、金メダル。
 おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔は、まちを明るくしてくれます。

The Gold Medalists



田畑 定男 さん
 (中辺路町真砂)

健康には自信があります
 元気なうちは環境美化に貢献したいです

中辺路町西谷地区周辺のごみ拾いや草刈りなど、年間を通じて地域の環境美化に努めている田畑定男さん。今年2月に90歳を迎える田畑さんは、昭和35年から現在まで、約50年間その活動を続けています。その功績がたたえられ、平成19年、環境保全推進活動表彰を受賞しました。「自分たちの住むまちや地域の環境に少しでも貢献できればとの思いで続けてきました。表彰されたことで今後の励みにもなりました。これからもより一層頑張っていこうという気持ちです」と話す田畑さん。

なったのは、近くの河原にキャンプや川遊びに訪れる人が増え、それとともにごみも増えるようになったからだそうです。「継続は力。何年も続けているうちにだんだんとごみが少なくなってきたよ」とうれしそうに話す田畑さん。昔はごみ袋数枚分になっていたごみも、今はマナーを守ってごみを持ち帰る人が多くなり、ごみが大分減ったそうです。

毎日体を動かして、規則正しい生活を送ることが健康の秘訣だという田畑さんは、今日もまちや地域の環境のためにごみを拾っています。



▲国道311号～県道、真砂橋周辺及び河原のごみ拾いや草刈りなど、年間を通じてまちや地域の環境美化に努めている田畑さん。